

グッドネーバース・ジャパン
年次報告書
2013
2013.1-2013.12



ごあいさつ

特定非営利活動法人グッドネーバース・ジャパンは、国際 NGO グッドネーバースの日本法人として、アジア・アフリカの 8 ヶ国における子どもの教育支援を中心とした地域開発や、災害時の緊急支援などの活動を実施しています。

国際 NGO グッドネーバースは 1991 年の創立以来徐々にその活動を広げ、現在は 32 カ国で支援活動を実施しています。昨年も新たに南スーダンとモザンビークでグッドネーバースのプロジェクトが開始されました。

私どもグッドネーバース・ジャパンにつきましては、2013 年はいくつかの大きな節目が重なった 1 年でした。一つは 2011 年から継続してきた東日本大震災復興支援活動の終了です。地震発生直後の緊急支援活動から、復興支援活動へと携わってきた 2 年半の月日は、被災地の方々と共に歩んだかけがえのない歴史であり、多くのボランティアや支援者の方々に支えていただいた証でもあります。あらためてそうしたすべての方々に感謝いたします。

もう一つは、グローバルキャンペーンとしては初めてとなる、未就学児対象の「ちびっこおえかきコンテスト」の実施です。途上国での地域開発や緊急支援はもちろんですが、未来を担う日本の子ども達に世界に触れるきっかけを与え、世界に羽ばたく人材を育成することも私達の使命です。昨年成功をより発展させる形で、2014 年も全国の子ども達に向けてこのグローバルキャンペーンを推進してまいります。

また、このようなグッドネーバース・ジャパンの活動が認められ、2013 年 11 月に認定 NPO 法人として東京都の認可を受けることができました。数ある NPO 法人の中から、公益性の高い団体として評価をいただくことができたのは大変喜ばしいことであり、皆様の温かいご支援による賜物であると感じております。

2014 年もより多くの子ども達に、そして彼らを取り巻く地域全体に質の高い支援を届けられるよう、今後も継続的なご関心・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



福井 玲

グッドネーバース・ジャパン代表理事
東京大学教授

ビジョン - 目指す世界 -

子どもの笑顔にあふれ、
誰もが人間らしく生きられる社会

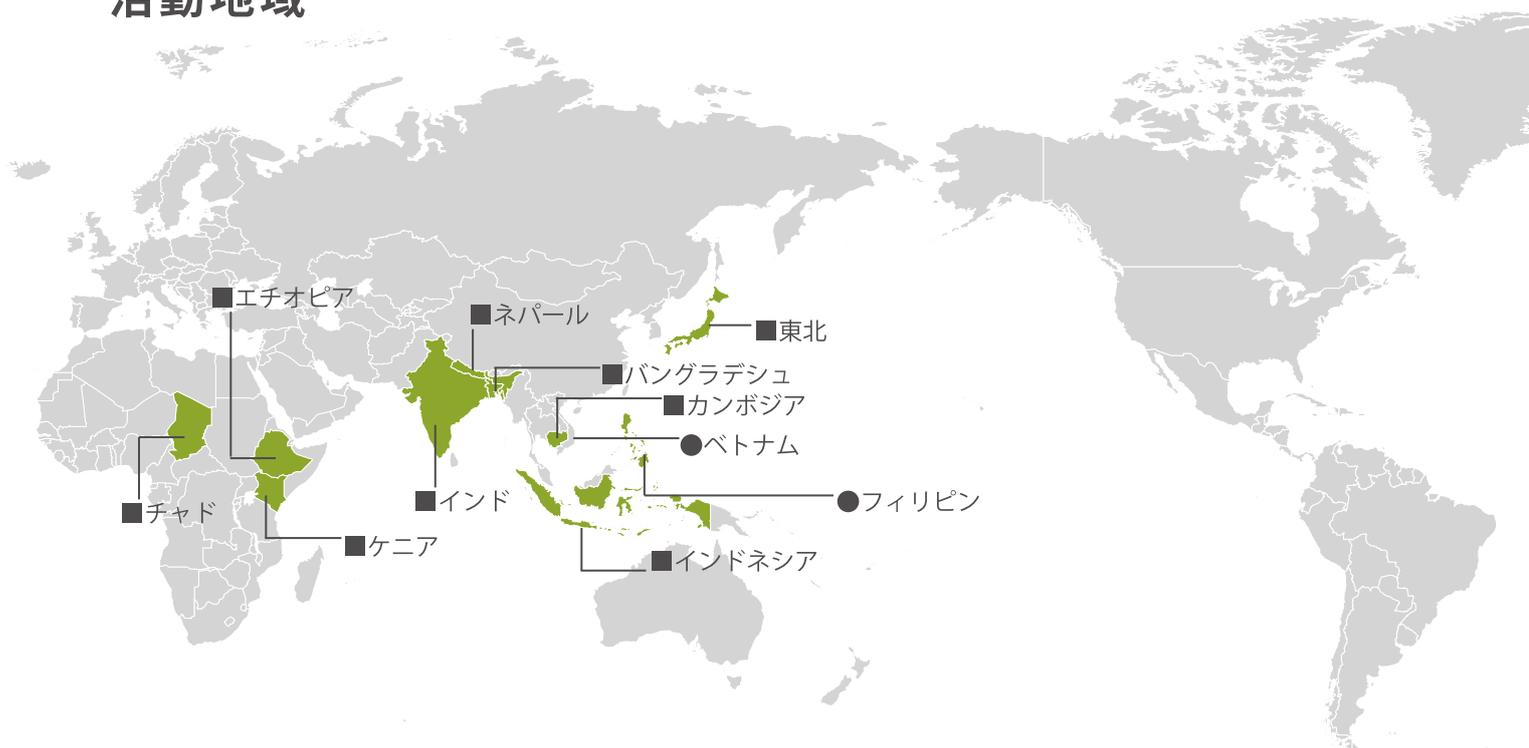
ミッション - 取り組んでいること -

国内外のパートナーと共に、貧困及び差別の原因や災害・紛争による脅威を取り除く

目次

- P.2 ごあいさつ
- P.3 活動地域
- P.4 東日本大震災における活動
- P.6 海外のコミュニティー開発事業
- P.22 緊急支援活動・キャンペーン
- P.24 イベント・ネットワーク
- P.26 会計報告
- P.27 組織概要・役員一覧

活動地域



■ グッドネーバース・ジャパンの支援国

● 支援国以外で2013年度に活動した地域

今、世界では・・・

小学校に通えない子ども達の数、**5,700万人**。

1日約**2万人**の子どもが5歳の誕生日を迎えずに亡くなっています。

児童労働に従事する子ども、**1億6,800万人**。

8人に1人が十分な食べ物を得られません。

貧困から発生する様々な問題において、特に被害を受けやすいのが子ども達です。私たちに何ができるでしょうか。

2013 東北支援活動報告

こんにちは

2013年9月末日をもって、グッドネーバース・ジャパンは岩手県大槌町、釜石市、山田町を中心に行っておりました復興支援活動を全て終了いたしました。

2013年3月、東北支援の集大成として、私たちはインドネシアへの渡航研修を企画し、岩手県の高校生16名を同じ津波の被災地インドネシア バンダ・アチェに送りました。津波による被災の遺構を数多く残し被災地であることを特長に観光地と化している同市を見た研修生たちは、これからの自身の故郷をどう残していくかを仲間と一緒に意見を交わし、「復興」に対する答えをそれぞれに導き出していきました。

東日本大震災は多くの悲しみや深い傷を東北の人達に残しました。そして、その傷は完全に癒える事なく、今も苦しんでいる人がいるのが現状です。特にその声は震災の報道が減っていく事と同じ様に、東北から離れている人達には被災地の声は聞こえづらくなっています。

「復興」という先の見えないゴールといかに向き合っていくか、そして被災地以外に住む人達は長い目でどれだけ寄り添えるかが、今後の被災地の、日本の課題だと思います。

グッドネーバース・ジャパンが2年半にわたって行ってきた日本大震災の被災地支援は、たくさんの方々のご尽力をいただきました。改めて深く御礼を申し上げます。

グッドネーバース・ジャパン
元震災復興支援部 部長 武鍵史恵

1年半にわたるアートセラピーを終えて

2012年7月から始まった大槌町おさなご幼稚園でのアートセラピープロジェクトは、「東日本支援チーム・アート de セラピー」の色彩心理の専門家の協力のもと、月に一度実施されました。アートセラピーは定期的に続けること、そして周りの大人の理解と協力が必須で、根気強く子どもと向き合う必要があります。

開始当初は被災による不安や恐怖などの感情を吐き出すために単色でぐるぐる塗りとつぶされた作品が多くありましたが、定期的な実施するにつれ、子ども達の心理状態の変化が確実に見て取れるようになりました。子ども達の作品は、単色から混色へ、抽象的な絵から具体的な絵へ、平面的な絵から立体的な工作へと移りかわり、より自由な発想で自主的に取り組む姿がみられました。



震災復興支援部スタッフ

活動地域 (岩手県)



16名がインドネシアへ

2013年3月16日～27日、岩手県釜石市・大槌町・山田町の高校生16名と共にインドネシア・スマトラ島沖地震の被災地アチェ州と首都ジャカルタを訪問し、現地の子供たちと交流し復興の様子を視察する研修を実施しました。現地では当時の被災状況や被災地の今を知るための、津波ミュージアムや観光地化された数々の遺構への訪問、被災体験の聴聞に始まり、インドネシアの人々に自らの被災体験を伝えるためのプレゼンテーション、研修生同士のディベートなどを行いました。また、同じ世代の子供たちとの異文化交流として、互いの伝統舞踊を披露しあったり、スポーツ大会やホームステイを実施するなどプログラムは多岐にわたりました。

渡航前後を含む全てのプログラムを通じて、研修生達は故郷の「復興」とは何かを考え、悩み、時には意見をぶつけ合いながらそれぞれの答えを見つけ出しました。海外に行くのが初めてという研修生も多く、食、人、言語、宗教など今までにない経験をし、改めて自分達が住む「日本」を見つめ直す機会にもなりました。

研修を終えた高校生の中には、岩手県の復興を目的とした任意団体を立ち上げたり、スイスのジュネーブで高校生平和大使として発表を行ったりするなど、故郷の若きリーダーとして復興をけん引すべく奮闘しています。

※このプログラムは「ベネッセ募金」からのご寄付により実施されました



今私が思う復興とは、
過去を受けとめて、
未来へつなげていくこと。
2013年3月27日 尾木 彩帆

住みやすい街
2013年3月27日 五十嵐真帆

今私が思う復興とは…
被災地にもどってきたこと
思う通り
2013年3月27日 服部 かなえ

人々のつながり
みんなの笑顔
2013年3月27日 山原 健登

今私が思う復興とは
前を向く
2013年3月27日 小原 知子

今私が思う復興とは
共有
2013年3月27日 菊地 色

今私が思う復興とは
被災地の
気持ち
2013年3月27日 佐味 奏

今私が思う復興とは…
1人1人の
小さな
2013年3月27日 水本 唯志

今私が思う復興とは…
団結
2013年3月27日 尾木 彩帆

今私が思う復興とは…
震災前の自分より
幸せになる
2013年3月27日 藤原 果奈

今私が思う復興とは…
皆が幸せに
暮らせること
2013年3月27日 岩間 真登

今私が思う復興とは!
笑顔
2013年3月27日 信人 茉琴

今私が思う復興とは!
笑顔
2013年3月27日 奥村 内範

今私が思う復興とは…
絆
2013年3月27日 佐味 奏

今私が思う復興とは…
元気
2013年3月27日 梅本 理沙

私が思う復興とは

インドネシアからの帰国後、それぞれに思う復興への答えを発表しました。 2013年3月27日(水) JR 新花巻駅にて

2013 カンボジア活動報告

ハロ! (こんにちは!)

まず初めに、全てのサポーターの皆様の継続的なご支援とご理解に心より感謝いたします。皆様のおかげで、子ども達の生活を変えるために必要な、地域の発展と生活水準の向上、例えば健康や教育、アドボカシー、収入向上などに焦点を当てて活動することができました。

そして私自身も、直接的であれ間接的であれ、グッドネーバーズ・カンボジア(GNC)の支援を受け取ったことが良い変化をもたらし、子ども達や住民が幸せそうに生活している姿を見ることができて幸せです。

また、私達は子ども達の生活や教育を改善するための活動をいくつか始めました。例えば出張診療所、健康診断、衛生意識の向上や治療のサポートを通じての子ども達や地域の人々の健康を管理しています。

更に私達は、子ども達に対し、①子どもの権利の重要性を理解させ、自立心を養い、②彼らのいる地域社会において、自分達が重要な役割を担うのだという気持ちを強めるために、ユース(青少年)対象のプログラムを始めました。地域社会の維持に関しては、裁縫訓練や養豚、養鶏、魚の養殖、自助グループ、家庭菜園などといった、収入向上プログラムを実施しています。

しかしながら、子ども達も地域住民も皆様方のご支援を依然として必要としており、将来、自分達の生活や地域社会をより良くしたいと切に願っています。

皆様のご支援なしに、彼らの暮らしがすぐに良くなることはありません。

GNCの代表として、これまでの子ども達への温かいご支援に、改めて感謝いたします。

皆様のおかげで、私達はカンボジアのあらゆる地域において、貧しい家庭や子ども達の生活を支える活動ができるのです。私達は、カンボジアで生きる人々にとって、貧困のない愛と希望にあふれた幸福な社会をつくれるようこれからも励んでまいります。

オークンチュンラン!(ありがとうございます!)

グッドネーバーズ・カンボジア
事務局長 イ・スンボム



グッドネーバーズ・カンボジアスタッフ一同



活動地域



活動の成果

- ✓ 4,299 人の子どもに学用品や制服を支給
- ✓ 病院がない遠隔地に出張診療所を設置し、2,818 人が受診・治療
- ✓ 1 kmに及ぶ用水路を建設し、農家の耕作面積を拡大
- ✓ 4 つの貯水タンク設置により、1,600 人が安定して乾季に飲料水を確保
- ✓ 地域の団結と自立を促す自助グループを結成し、254 世帯の小売店開業を支援



再びわが子と暮らせるように

私の名前はチャンサ・ソイ、31 歳です。

私はコントレイ地域に住んでいます。私には二人の子どもがいます。夫は軍人で、2 年前に他の州へ派遣されました。その時から夫とは音信不通になってしまい、電話をつないでもらうこともできず、今どこで何をしているかも分かりません。

2 年前、私はタイと自宅の近くの両方で日雇い労働者として働いていました。なぜなら私達には農地もなく、夫からの仕送りが途絶えてしまったからです。私はできる仕事はどんなことでもやりました。一日大体 4 ドルほどは稼げていましたが、雇用は安定していませんでした。ときどき私は、子ども達を母に預け、2～3 カ月ほど建設現場で働くためにタイまで行っていました。その間子どもに会いに帰るのは 1 回ほどでした。

私は、幼い二人の子どもをどうやって学校へ行かせようか、いつも気に病みながら、子どもに会えないさみしさをつららせていました。このような苦難を乗り越えるため、私はグッドネーバーズ・カンボジア（GNC）が支援する裁縫訓練を受けることを決めました。そこで 3 カ月間過ごし、衣類を作る技術を獲得することができました。私は幸せでした。子ども達とこの場所に住み、裁縫の仕事で収入を得ることができたのですから。

GNC のサポートによって、私の人生は大きく変わりました。

更に、子ども達も GNC から支援を受けています。現在私は裁縫センターで、最愛の我が子を育てるのに十分なお金を稼ぐことができています。その上、子どもたちが欲しがるものを購入するお金も、いくらか蓄えられるようになってきました。GNC が無かったら、私はタイで日雇労働として違法に働いていたことでしょう。

最後になりますが、私達家族やこの国にいる他の家族の方々に支援してください、本当にありがとうございます。



2013 インドネシア活動報告

スラマツ シアン! (こんにちは!)

2013 年は皆様の関心と愛のおかげでインドネシアの子どもとその家族、地域が成長した一年でした。私達グッドネーバース・インドネシア (GN インドネシア) もサポーター様の心を子ども達に伝えることに一生懸命励んできました。

2013 年にはインドネシアのスラウェシ島のエンレカンとティモール島地域のボロンで地域開発事業に着手いたしました。2014 年はインドネシアの中で最も貧しい地域であるティモール島を中心にして 2 ヶ所の活動地域が加わる予定です。

インドネシアの経済は約6%の成長率を記録し、世界 GDP15 位の水準にまで成長しました。しかし一方で、貧富の格差と物価上昇のため多くの国民は苦しんでいます。

2014 年にはグッドネーバース全体の活動地域で組合組織を完成させ、実質的で持続可能な収入向上支援ができるように自立の土台を作る予定です。スカブミの地域開発事業場のパイヤ農場、メダンの地域開発事業場のヤギの貸付事業、ラワバダクの地域開発事業場の貸付事業などがその始まりになります。

これは 1 人で、それに短い間で達成できるものではありません。2004 年インドネシアに大打撃をもたらした地震と津波以降、サポーター様の関心と愛が 10 年ほど続いてきたからこそです。

私達 GN インドネシアは子ども達がより良い生活ができるよう、これからも最善を尽くしていきます。2014 年も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

トゥリマカシ! (ありがとうございます!)

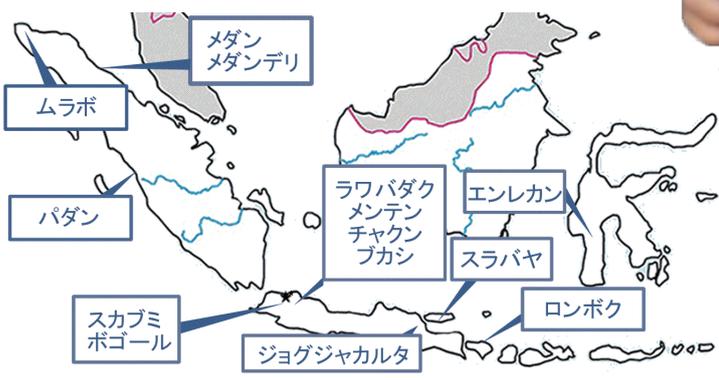
グッドネーバース・インドネシア
事務局長 パク・ドンチョル



グッドネーバース・インドネシアスタッフ一同



活動地域



活動の成果

- ✓ 3つの活動地域が加わり、新たに **1,489** 人の子どもを継続的に支援
- ✓ 健康診断、栄養改善や感染症予防プログラムによって乳幼児死亡率が **1 %**以下に減少※
- ✓ 農村部にはトイレや井戸の設置、都市部ではゴミの処理などの衛生教育を実施
- ✓ **1,456** 人の親が子どもの権利や育児について学んだ

※インドネシア国内の乳幼児死亡率は3.1%「WHO 世界保健統計 2014年版」より



今僕はとても幸せです

僕の名前はアフマド・リスキ、12歳です。僕は、4歳の頃から組織球増殖症という難病を患っていて、左目の後ろにしこりのようなものがあります。この病気のせいで学校に行けなかったり、体の成長が遅かったりしたせいで、友達に馬鹿にされることもありました。

僕は2013年に、しこりと左目を摘出する手術を受けました。実は、医療費は政府が負担してくれたのですが、家から病院までの(約35km)の交通費を払えなかったのです。グッドネーバーズ・インドネシア(GNインドネシア)は、その交通費や入院中の食費を負担して僕達家族を助けてくれました。手術後には僕がジャカルタの眼科で、無償で人工眼球の移植を受けられるようお医者さんと掛け合ってくれました。

それだけでなくGNインドネシアのスタッフが僕の家によく来て、読み書きや算数を教えてくれるので、今僕はとても幸せです。



毎日学校に通えるように

こんにちは、僕の名前はアルダです。ボゴールのチリュークサ村の集落に住んでいます。僕の村はGNインドネシアが運営する子どもの権利センターから歩いて一時間半のところにあります。僕の家までは岩でごつごつした坂道で、雨期になると泥でぬかるんでいます。前までは、僕の村にはトイレや体を洗うような施設がなく、全て川などを使っていました。そのため夜にトイレに行くとき、怖い思いをしていました。GNインドネシアが僕の村に共同トイレを作って2年が経ち、今ではそのようなこともなくなりました。

また、僕は校舎が建てられるのを待ち望んでいました。僕の村には学校がなく、唯一あるのは黒板だけでした。家から一番近い学校でも、歩いて1時間ほどかかりました。僕達は木のベンチに座っていて、席を確保するのはいつも競争でした。

でも2013年の終わりに、GNインドネシアのプロジェクトで遂に自分たちの村に校舎ができたのです。その他にも、食事の前の手洗いや、健康のために栄養のあるものを食べることを教えてくれました。また、子どもの権利とは何かを僕の村の子どもたちに教えてくれたので、僕も今では分かっています。新しい校舎ができたので、今では週に5日勉強することができ、最近小学校4年生に進級しました。

新しい校舎と勉強する機会を与えてくれたことを、とても感謝しています。



2013 バングラデシュ活動報告

バロ アチェン? (お元気ですか?)

困難な状況下におかれた子ども達とその家族の生活、教育、保健衛生環境を改善するため、グッドネーバース・バングラデシュ (GNB) に温かいご支援をいただきありがとうございます。

GNB が持つ 13 の活動地域は、教育支援、医療支援、子どもの権利保護、協同組合による収入向上プログラム、女性や若年層の就業訓練を推進し、地域経済の改善に大きな影響力を持っています。

GNB はこのような活動に子ども達が参加することに重点を置いています。子ども達が様々な声を上げ、リーダーシップを発揮し、子どもの権利に気付いてくれるよう、すべての活動地域で「子ども議会」が作られています。ユニセフによると、バングラデシュ国内では 66% の少女が 18 歳を迎える前に結婚をしていますが、GNB の活動地域での早婚はゼロに近い数字を維持しています。また、0 歳から 5 歳までの子どもたちの出生届け提出率は、国の平均が 53% 程度であるのに対し、GNB の活動地域では 100% を確保しています。

協同組合による収入向上プログラムはめざましい成功を遂げながら拡大しており、今後も GNB は協同組合のメンバーに企業家精神を育てる機会を作っていきます。この活動により、2,977 人の母親が働く機会を得ました。また、青少年育成プログラムが地域の若者に与える影響も顕著です。彼らは GNB の英語教室、パソコントレーニング、地域開発を学ぶコースを通じて積極的に能力強化に努めています。彼らが率先して活動へ参加することで、2013 年 7 月、「全国青少年議会」が結成されました。また、新しく導入された緑の育成プログラム(バイオガスやソーラーパネルの設置)は、持続可能な開発に貢献することになるでしょう。

これからも継続的なご支援をよろしくお願いいたします。

グッドネーバース・バングラデシュ
事務局長 キム・ジョンソク

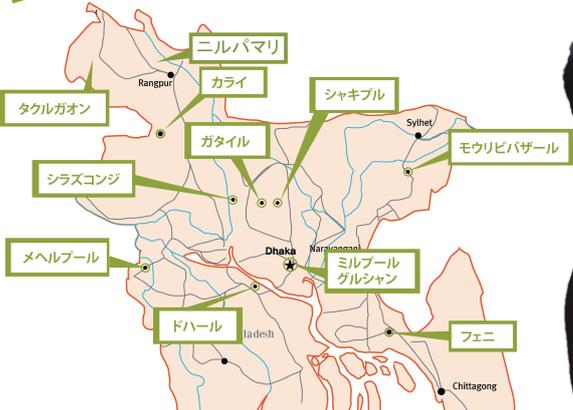
ドンノバット! (ありがとうございます!)



グッドネーバース・バングラデシュスタッフ一同



活動地域



活動の成果

- ✓ 15,258 人に学用品と制服を提供
- ✓ すべての活動地域で補習授業を実施した結果、94% の小学生が進級
- ✓ 活動地域に住む子ども全員に 4 回健康診断を実施
- ✓ 170 の井戸と 397 のトイレを設置し、下痢やコレラなどの感染症が 80% 減少
- ✓ 出生届のキャンペーンを継続的に実施し、届出率 100% を達成※



※バングラデシュの平均届出率は 31% 「世界子ども白書 2014」より

「私ならできる」と自信をもっています

こんにちは。私はグッドネーバーズ・バングラデシュ (GNB) が設立した子ども議会代表のサミア・クワン・プリヤ、13 歳です。私は 2011 年から GNB が運営するミルプールの学校に入り、昨年、A+ という優秀な成績で修了証をもらいました。家族の経済的な問題もありますが、GNB は私の成長を支援してくれています。

2007 年にビジネスマンだった父が別の女性と結婚し出て行ってしまったことで、それまでの幸せな暮らしは一変し、母と姉と兄と私は収入がなくなり、住むための土地を奪われ全ての希望を失いました。学校に通うことすら困難な状況でした。母は衣料品の製造工場で働き始めましたが、月 4,000 タカ (約 5,000 円) ほどの給料では、私たち家族のお腹を満たすことも、家賃を払うこともできません。教育などもつてのほかです。生きることに精一杯で、将来エンジニアになる夢も諦めかけていました。3 年後の 2010 年、私たちは GNB のボランティアの計らいで GNB の支援を受けることになりました。中学 1 年生として再入学し、学費や教材・制服の費用も心配することなく、勉強に専念できることになりました。また、定期的な健康診断も受けています。今、こうして GNB の支援を受けるようになり、「目的がはっきりしていれば金銭的な問題は大きな問題ではない」ということを実感しています。

また、GNB から子ども議会を紹介されたことがきっかけで、子ども達のために働きたいと希望を持つようになりました。子ども議会のメンバーと共に、地域の早婚防止、出生届 100% 実現のため活動できることがとても嬉しいです。子どもがいる家庭を定期的に訪問し、家族も様々な社会問題を知るようになりました。私達はまだ子どもですが、地域の人達はきちんと話を聞いてくれます。子どもが率先して活動を行うことで、大人も現状を改善しなくては、と考えてくれるようになっていきます。

GNB の活動を通して教養が広がり、今は他の地域や国内の会議にも参加するようになり、GNB の子ども議会の代表以外にも、バングラデシュ内の様々な子どもフォーラムに出席しています。一度は夢を失いかけた私も、今は「私ならできる」と、自信を持って活動しています。



2013 インド活動報告

ナマステ (こんにちは)

グッドネーバーズ・インド (GN インド) を代表し、インドの貧しく、支援を必要としている子ども達をサポートして下さっている皆様に深く感謝いたします。

GN インドは、子ども達と地域住民が質の高い教育、医療支援、十分な栄養や食糧、そして地域における組織、また持続的な地域開発のための収入向上など、より良い生活環境を作りあげてきました。

プロジェクトでは教育、健康、職業訓練、水と衛生、マイクロファイナンスと様々なプロジェクトを実行することで子ども達、青少年や若い母親たちに良い変化をもたらしましたが、私達にはまだまだやるべきことがあります。

インドの GDP は農業やそれに関連する産業が基盤となっているため、近年の気候変動によって厳しい局面を迎えていました。急激なインフレは貧困を増幅させ、その後わずかに落ち着きを見せましたが、以前状況は不安定です。

インドには経済発展に必要な技術を持っていない国民が大勢います。このような経済、そして政治状況ですが、GN インドは、子ども達や地域住民それぞれの生活を維持できるよう、共に活動してきました。

今後も皆様の温かいご支援をいただけるよう、プロジェクトを進めてまいります。

ナンドゥリ! (ありがとうございます!)

グッドネーバーズ・インド
事務局長 キム・ミンジョン



グッドネーバーズ・インドスタッフ一団



活動地域



活動の成果

- ✓ 1,689 人の親子がパソコンや裁縫の技術訓練に参加
- ✓ 子ども達への定期的な健康診断に加え、情操教育や衛生・健康に関する教育を実施
- ✓ 3 つの地域に浄水器を提供し、2,538 人に安全な飲料水を提供
- ✓ 226 人が収入向上プログラムに参加
子どもの権利・環境保護・健康をテーマとしたディベートや、
- ✓ クイズ大会、絵のコンテストなどを実施し、5,755 人が参加



日雇い労働からの脱却

小学校に通う 10 歳のシュリシャちゃんの家は父親、母親、祖父、祖母、そして兄の 6 人家族です。この一家は数年前にグッドネーバース・インドから 2 匹の羊を受け取りました。これは収入向上プログラムの一貫である、畜産事業によるものです。

養羊を始める前は、農地で日雇い労働をしていました。しかし昨年、この 2 匹の羊から 4 匹の子羊が生まれ、養羊が軌道に乗り始めました。家族はこの成功で得た資金を、羊の購入や、子どもの教育費、また健康的に暮らすための費用に充てています。



お店の売上で勉強を再開

17 歳のアンバンマさんは、若くして結婚を強いられました。家族は彼女に学校を辞めて働くように促しました。GN インドは、収入向上プログラムの支援先として彼女の家族を選出し、家族とのカウンセリングを重ねました。その結果、GN インドのサポートのもと、小さな商店を開業することに決まりました。開業にあたり、GN インドは 25,000 ルピー (約 43,000 円) を出資し、家族は 5,000 ルピー (約 8,500 円) を負担しました。お店の売り上げは好調で、月に 15,000 ルピー (約 26,000 円) の稼ぎがあります。家族はこの資金を、食費や医療費だけでなく、教育費にも使うことができている。収入が安定したため、アンバンマさんは現在、通信教育で勉強を続けています。



2013 ネパール活動報告

ナマステ (こんにちは)

皆様の日頃からの支援とご協力により、住民の生活は向上しています。特に、教育と健康分野における環境が改善され、また、平等な社会を築くことへの関心も高まっています。改めて感謝の言葉を申し上げます。

グッドネーブーズのネパールでの活動は 2002 年から始まりました。最初はわずか 16 人の子どもの支援からスタートしましたが、2013 年には 25,000 人の子どもを支援することができました。11 年の活動を経て、住民の生活環境も大きく改善しています。教育、健康促進、所得水準の向上、飲用水設備の普及、衛生向上、地域コミュニティとの連携、社会問題についての意識を高めるための啓発などを通じて、地域の発展に重要な役割を果たし、住民を取り巻く環境の改善に貢献してきました。

私達は 2013 年も持続的な開発に専念し、とりわけ貧困な農業従事者の収入向上に最も注力しました。活動地域の一つであるフムラに 7 つの協同組合を創設し、葉草と香草の加工処理技術を根付かせました。また、インフラの向上にも力を入れました。ドティ地域には運河、道路、市場を建設し、ムグ(地域)には小売店を建設しました。これにより地域の生活環境が向上しました。さらに 178 もの農業組合が作られ、収入向上のための施策に参画しました。また私達は、新たに 4 つの地域で活動を開始しました。2014 年にはさらに 2 つの活動地域が加わる予定です。

今後とも継続的なご支援をよろしくお願いいたします。

ダンニャバード (ありがとうございます!)

グッドネーブーズ・ネパール
事務局長 ロ・キョンフ



グッドネーブーズ・ネパールスタッフ一同



活動地域



活動の成果

- ✓ 4つの活動地域が加わり、**4,451**人の子どもを新たに支援
- ✓ 支援を受けている子どもの進学率が、
2011年の93%から97%に増加
- ✓ **23,000**人の子どもに定期的に健康診断を実施し、
31人の緊急治療を支援
- ✓ **1,674**個のトイレを設置し、**8,450**人に衛生教育を実施
- ✓ 地域の発展を担う協同組合の設立支援により、**4**つの組合が発足



正しい養豚のノウハウを学びました

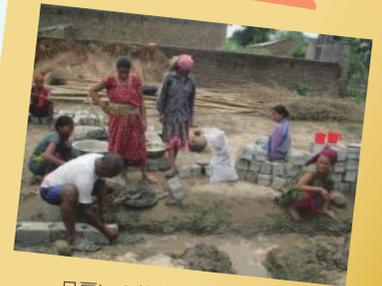
ナマステ！私の名前はタガニ・チョウドリーです。私はバルディヤ地域にある母親組合の一員として活動しています。この組合は、グッドネーブーズ・ネパール (GNN) が実施している収入向上プログラムによって組織されました。この団体に入る前は、収入向上という言葉を知らず、また私達が子どもの教育に貢献できるとは思っていませんでした。たまに昼間の仕事もしましたが、たいていは家庭のため、台所で家事に専念していました。そのため、収入は低く、子どもに必要なものを買ってあげることもできませんでした。

私の娘フィリナが GNN の支援を受けるようになった頃、スタッフが家に来て、「あなたの子どもの成長や教育のために何が必要ですか」と私に聞いたその時のことを、まだ覚えています。私はまったく知らない人にわが子に必要なものを聞かれ、驚いたと同時に恥ずかしく思いました。スタッフは分かりやすく支援のプロセスを教えてくれ、また子どもの将来と教育費の為の収入向上について丁寧に説明してくれました。

私は子豚を一匹買いたいと提案し、GNN の支援によって子豚を買いました。けれど、その時は現代的な養豚のノウハウについてよく知りませんでした。伝統的な飼育法に頼って、子豚を泥だらけの場所に放置し、ごみや残飯などをエサとして食べさせました。その間、家は増々汚くなり、子豚の糞が悪臭を放っていました。

しかし、母親組合の企画で、現代的な養豚を通じて所得を増やす方法を教えてもらう機会があり、目が覚めるような思いをしたのです。それから古いやり方ではなく、子豚を正しく育て、養豚に繋げることを意識し始めました。私は少しお金を使って、子豚を飼う場所を綺麗にし、成長して売ることができるよう必要な投資をしました。豚を売ったお金は 17,000 ルピー (約 18,300 円) でした。そのうち 7,000 ルピー (約 7,500 円) を使い、また 2 匹の子豚を買い、残ったお金は全て家族のために使いました。

今は、家族が生活していくだけの収入があり、他人に頼ったり、日雇いの仕事をしなくてもすむようになりました。



日雇いの仕事をしていた頃



2013 ケニア活動報告

ジャンボ(こんにちは!)

皆様の継続的なご支援によって住民の生活が発展し、健康や教育、その他多くの生活水準を改善することができています。心より感謝申し上げます。

グッドネーバズがケニアでの活動を開始してから、多くの人々の、特に学校に通う子ども達の生活が変わりました。彼らには教室があり、学ぶための備品がそろっています。ケニア政府や自治体のリーダーは、支援を受けた家族の生活の変容にとっても驚いていました。彼らは地域の医療サービス、支援、教育プログラム、住居環境など、生活において重要な分野の発展と改善に、グッドネーバズ・ケニア(GNK)が重大な役割を果たしていることを実際に目にしています。

今日のケニア経済は貧困に苦しめられています。貧困率は40%に達し、全人口の50%以上の人々の生活が貧困ライン(※一日1.25ドル以下で生活する)を下回っている状況です。政府は現在インフラ改善の計画を考えています。政治においては2013年に政権が変わり、新政府は現在、次のステップをどのように構築していくかという課題に取り組んでいます。

政府のマニフェストは2030年までにケニアを中所得国家にすることです。これら全ての状況を踏まえ、私達は6,700人以上の子ども達の権利を守るためサポートをし、彼らに教育の機会とその両親の収入となるプログラムを提供します。私たちは今後も地域開発委員会を通じて地域社会に参加し、改善と発展を目指します。

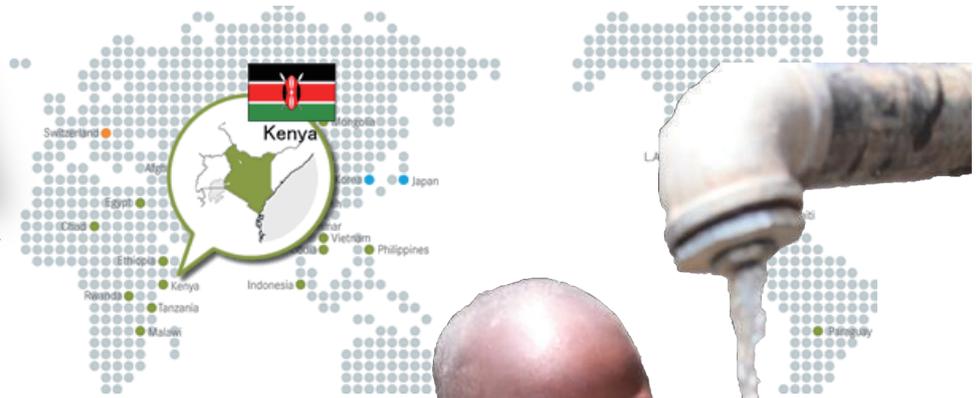
また、私達は人形劇を通じて、子どもの権利を改善するための教育プログラムを実施しています。2013年に、GNKをご支援いただき、多くの変化をもたらしていただいた皆様へ大きな感謝を述べたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

アサンテ サーナ(ありがとうございます!)

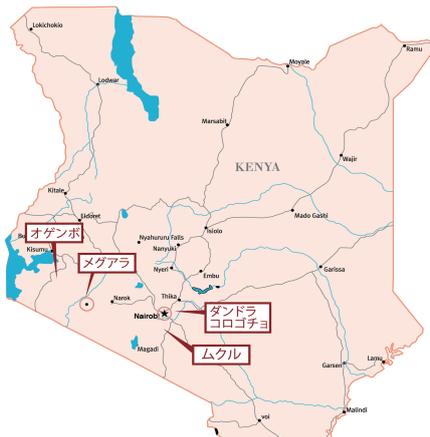
グッドネーバズ・ケニア
事務局長 パク・ヨンウォン



グッドネーバズ・ケニアスタッフと子ども達



活動地域



活動の成果

- ✓ 6,779 人の子どもの授業料を支援し、給食を提供
- ✓ 6,800 人の子どもが年に 3 回、子どもの権利について学んだ
- ✓ 983 人に虫下しの薬を配布
- ✓ 20,650 の世帯に安全な飲料水を提供
- ✓ 1,000 世帯が 3 つの地域で清掃活動に参加



子どもによる、子どものための人形劇

「トリプル C」(Of the Children, By the Children, For the Children=子どもの、子どもによる、子どものための)は、グッドネーバーズ・ケニアによって始められたクラブ活動です。このクラブの名前はメグアラ地域の幼い子どもたちの幸せを願ってつけられました。トリプル C は 20 名のメンバーで運営されており、そのほとんどは学校に通う子ども達です。彼らはボランティアで、人形劇を通して子どもの権利や、虐待から身を守るための方法を啓発しています。2013 年の 9 月に結成したばかりですが、すでに 5 つの学校で、3,820 人の子ども達の前でこの劇を披露しています。

トリプル C は、守られるべき子どもの権利について、自分達の考え方を伝えます。どのように人形劇で表現するか、と演出を工夫することによって、子ども達を様々な方法で教育しているのです。この活動は、劇を鑑賞する子ども達の学びの場だけでなく、クラブのメンバーにとっても有意義なものです。彼らが自らこのような教訓を発信することで、自信をもち、チームワークを高めることができるのです。

トリプル C の代表を務めるジャコ君 (17 歳) は「劇の準備をしながら、子どもの権利についてとてもよく理解できました。もっとたくさんのことを学んで、性的虐待のような重大な課題について、みんなに教えていきたいです。」と今後の意気込みを語ってくれました。



2013 エチオピア活動報告

エンデミナチウ！デーナチウ？（こんにちは！お元気ですか？）

サポーターの皆様、日頃よりエチオピアへのご支援をいただきありがとうございます。
グッドネーバース・エチオピア（GNE）は創立されてから今年で18年経ちます。こうしてエチオピア社会とともに成長ができているのは、皆様のご関心と温かいお気持ちのおかげです。

ODA（政府開発援助）や、その他多くのご支援によりエチオピアは今も成長を続けていますが、主体的に強く導いてくれる人材が欠けています。つまり、人材の育成がこの国において最も重要な課題の一つなのです。

そのため、GNEではTVET（技術的職業教育・訓練）というプログラムを運営しています。これは5つあるプロジェクトでITや裁縫の指導教育を行ってから、無利子の融資を行うことで小規模ビジネスの立上げを奨励するというものです。

その中でも昨年設立したホープ・センターという施設ではプロジェクト参加者に対して食堂施設を提供しており、ここでは既に12名がビジネスを行っています。また、私達が新たに始めるグローバルなCSR（企業の社会的責任）プロジェクトによって、女性を対象とした能力開発や収入向上プログラムを改善し、拡大することができると信じています。

GNEは受益者及びそのご家族の方々の経済的自立のため、2014年も地域社会の開発及び人材育成に力を注いで参ります。そしてそれら地域ごとに特化したプログラムを運営することで、社会全体の収入レベルの改善、ひいてはエチオピアという国から貧困をなくすことを目指します。

引き続き、皆様からの温かいご支援をお願いいたします。

エナメセギナレン！デーナフヌ（ありがとうございます。さようなら）

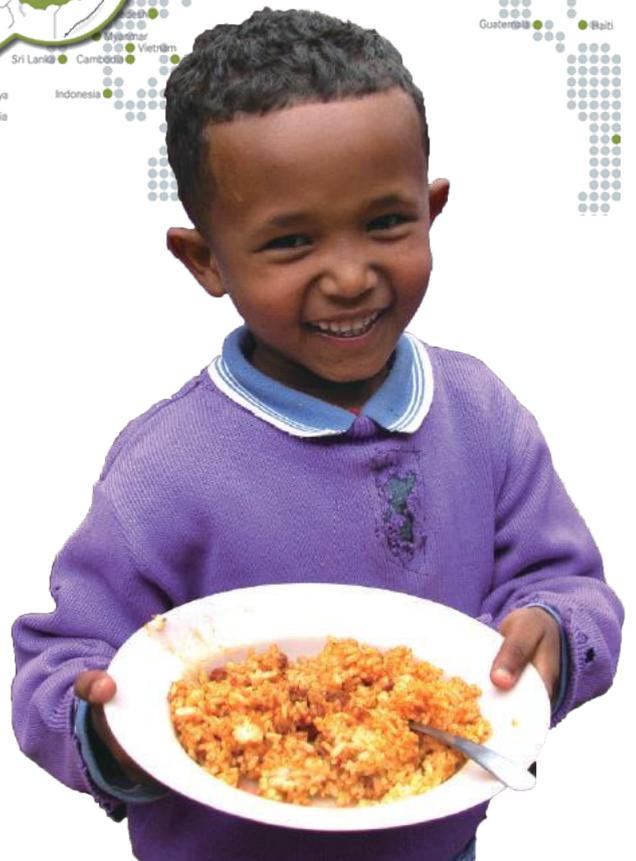
グッドネーバース・エチオピア
事務局長 キム・チュルホ



グッドネーバース・エチオピアスタッフ一同



活動地域



活動の成果

- ✓ 4,262 人の子どもの授業料を支援し、幼稚園に通う 120 人の子どもに給食を提供
- ✓ 18,900 人が利用する図書館を運営
- ✓ 5,958 人の子どもに健康診断を行い、304 人の子どもの治療費を継続的に支援
- ✓ 12 人の若者が融資を受け、ホープセンターにカフェを開業



14 年間の支援を経て

私達は教育こそが人間の成長を促し、発展させ、人間たらしめるものであると信じています。そのためグッドネーバース・エチオピア（GNE）は、教育する立場、教育を受ける立場双方の向上を目的に、あらゆる視点から教育を考え、学校を支援しています。

今年 2013 年、GNE のプロジェクトでは、受益者の子ども達が、大学に入学するという形で、画期的な成功を収めることができました。彼らのほとんどは 14 年間、メルカム地域の KG スクールで初等教育から高等教育までを受けており、大学の合格発表があった時には GNE のスタッフにそれまでの支援について感謝の気持ちを伝えてくれました。

メロン・マヘレグはその一人です。彼女の両親はとても裕福とは言えない暮らしの中、田舎で 8 人の子どもを養っています。彼女はその生活を変えるために、必死に勉強して大学入学を果たしたのです。

10 月 1 日に行われた入学式では、KG スクールの先生や GNE のスタッフも出席し、祝辞を述べました。「大学への入学は彼らの人生を成功に導くための第一歩であるということを忘れてはいけない」というものです。教育を受ける前、彼女達の立場は弱く、周りからも排除されていましたが、この 14 年間の支援で、彼女達は希望に満ちた世代へと変わることができたのです。この記念すべき 1 日は、KG スクールの先生と生徒たちが生み出した画期的な成果と、14 年間の絆を再確認する場となりました。知識の向上と自己実現のためにグッドネーバース・エチオピアがまいた種は、大きな花を咲かせたのです。私達はこれからも、その希望の花を咲かせるために活動を続けていきます。



中央にいるのがメロン・マヘレグさん



2013 チャド活動報告

アッサラーム アライクム! (こんにちは!)

グッドネーバース・チャド (GNC) を代表して、チャドの人々の生活を向上させるための、子どもの保護、教育、水・衛生、保健などを初めとする様々なプロジェクトへご支援をいただいている皆様に心から感謝申し上げます。

GNC は 2007 年 10 月から一番大きいワリーア地域の活動を開始し、様々な困難を乗り越えながらここまで来ました。今ではワリーア地域を中心に 5 つの小さな活動地域があります。

また、2011 年から 2013 年までの 3 年間、チャド政府と地域住民から寄せられた私達の活動に対する評価は常に前向きなものでした。それは、私達が学校施設、給水ポンプ、地域の組合の運営など様々な分野に実績を残したからです。

この 3 年間に与えられた政府からの評価のおかげで、GNC は更に 3 年間の活動期間を認めてもらうことができました。政府から「グッドネーバース・チャドのあらゆる活動を評価している。最重要課題である水・学校・保健施設の 3 分野における貢献を認める」という文書を渡されたのが、一番心に残った出来事です。

政府は現在、上記の 3 つの分野に関わるプロジェクトを実施予定の NGO を支援するために準備を進めており、人道支援における適切なサポートを政府からも様々な形で受けられるようになると期待しています。

また、GNC は現在 19 地域で活動しており、各地の地域開発委員会がその活動の中核となり、地域の要望がすべてその委員会を経由して報告されるようになってきました。それだけではなく、私達だけでは見つけ出せないようなところにいる、支援が必要な子どもを探してくれるボランティアもいます。

支援を必要とするチャドの人々を支えてくださる皆様に、感謝の意を表し、このメッセージを締めくくりたいと思います。

マアッサラマ (さようなら)

グッドネーバース・チャド
事務局長 パク・グンソン



グッドネーバース・チャドのスタッフ



活動地域

- ワリーア
- アムナバク
- カリワ
- パリスコンゴ II
- アントウコウイ
- アベナアトロン
- カシ
- クンドゥル
- カンバ
- カルウェイ
- ファシャアテレ
- ドゴレ
- マンダリア
- アリガルガ



活動の成果

- ✓ 95 の地域で 160 の給水ポンプを設置し、46,500人に安全な飲料水を提供
- ✓ 825 人が農業・牧畜の技術支援やマイクロクレジットのプログラムに参加
- ✓ 3 ヶ月ごとに、家庭訪問を実施し、子どもの健康状態を確認
- ✓ 4,851 人の子どもに学用品と制服を支給
- ✓ 6,500 人が診療所を利用し健康教育を受けた結果、

乳幼児死亡率が 1% 未満に改善※

※チャドの平均乳幼児死亡率は 9.9% 「世界こども白書 2012」より



住民の意識が変わりつつあります

ファシャアテレはンジャメナから 55 キロほど離れた場所にあります。住民は牧畜で生計を立てていますが、収入は低く貧しい暮らしです。

2010 年に故パク・ヨナさんがヨナスクールを建てるまで、この地域に学校はひとつもありませんでした。住民の中で公用語であるフランス語を話せるのはほんのひと握りで、ほとんどの大人は読み書きもできません。

地域開発委員会は牛や羊の飼育や、トウモロコシ栽培のプロジェクトを立ち上げました。一年目ということもあり、初年度の収穫はわずかでしたが、トラクターを購入し耕作面積が増えたため、次年度の収穫には期待がもてます。

栽培の他には、炭の生産・販売もしています。この炭は木ではなく、現地の主食であるキビの茎から作られているため、木の使用を抑える役目も果たしています。販売の際には、住民自ら 1kg1,000XAF (約 211 円) と価格を設定し、比較的安価な炭を人々に提供しています。この価格設定は、売る側の利益のためだけでなく、買う側の暮らしを考慮したものです。安く手に入る炭があれば、時間をかけて遠くに薪をとりに行く負担が軽くなるためです。

このように、現在のファシャアテレ地域の住民達は、グッドネーバーズ・チャドが活動をスタートさせたときとは全く違います。住民達は、地域開発の意義や重要性を理解し、今や主体的に活動を推し進めています。



ベトナム 洪水緊急支援

- 地域 フォン・ソン県の12地域
期間 2013年11月～12月
対象 1,200世帯
内容 衛生用品（洗剤・生理用品・石鹸・浄水器など）
生活用品（おけ・鍋・フライパン・毛布など）



2013年の9月から10月にかけて東南アジアに台風が連続して上陸し、ベトナム中部では深刻な洪水被害が出ていました。最も被害が深刻な地域の一つであるハティン省フォン・ソン県での調査の結果、調理器具などの生活用品が洪水により流されている、衛生用品が不足している、浸水により井戸水が汚染されているなどの被害が確認されました。グッドネーバース・ジャパンは、衛生環境の悪化を防止し、従来の生活をいち早く取り戻すため、生活用品および衛生用品のセットを配布しました。袋詰めや配布作業は自治体やボランティアの協力を借りて実施し、県内12地域の計1,200世帯に物資を届けました。

※この事業はジャパン・プラットフォームの助成により実施しました。

バングラデシュ 1000 いいね！で1000の白い歯！ 1000 いいねキャンペーン

- 地域 バングラデシュ・日本
期間 2013年6月～10月
(歯磨き教室は10月末に実施)
対象 2,202人の子ども
内容 facebookで1000いいね！を獲得し、
バングラデシュに歯磨き教室を開く



このキャンペーンは、単に途上国への支援をするだけでなく、その過程により多くの日本の方に関わってもらい、途上国の問題やそれに取り組む団体の活動に関心を持ってもらうことを目的に始めました。開始当初650のいいね！が集まっていたグッドネーバース・ジャパンのfacebookアカウントが、1000いいねを獲得したら歯磨きの習慣が身につけていないバングラデシュの子ども達を対象に「歯磨き教室」を開くという趣旨のもと、4か月間にわたりキャンペーンを実施しました。10月には1000いいねを達成し、ガタイルとグルシャン地域にある学校で歯磨き教室を実施しました。この歯磨き教室では、全員が歯科医師の検査を受け、歯磨きの大切さや正しい歯磨きの仕方を学びました。子どもが虫歯になっても、距離や金銭的理由で簡単に治療を受けられるわけではありません。そのため虫歯の予防が重要で、このようなプログラムを定期的の実施していくことが求められます。バングラデシュでは、教師による呼びかけだけでなく、来年もこのようなプログラムの実施を予定しています。

日本

親子でチャレンジ国際理解！ ちびっこおえかきコンテスト



地域 日本

期間 2013年10月～12月

対象 首都圏・岩手県の大槌町・釜石市の未就学児

内容 途上国の問題を親子で学び、カンボジアに住む少女のために絵を描く

グッドネーバース・ジャパンは開発途上国の子どもを支援する NGO として、親子で途上国の問題意識を深める機会をより多くの家庭に提供することを目指しています。第一回目の開催となった「ちびっこおえかきコンテスト」は、外務省を始め多くの企業様や各界を代表する審査員の方々からのご賛同を得て実施され、首都圏を中心に 1330 作品がよせられました。

園児達から届いた 1,330 枚の「希望の絵」



【最優秀賞作品】



【優秀賞作品】



【事務所での審査の様子】



【どれも力作ばかり】

2014年1月19日に JICA 地球ひろばにて展示会・表彰式が行われ、園児を始め保護者の方々や園の先生方を中心に、たくさんの方々にご来場いただきました。式の後に実施したアンケートでは「子どもが途上国のことを知るきっかけになった」「次もぜひ参加したい」という感想を多くいただき、保護者の方々の高い関心がうかがえました。



報告会・イベント

サポーター交流会

日程：2013年3月19日/9月14日 場所：グッドネーバース・ジャパン事務所
内容：日頃からご支援いただいているサポーター様を事務所にご招待し、交流できる場を設けました。バングラデシュとの Skype 中継やインドネシア語で書く手紙講座など、さまざまなプログラムを楽しんでいただきました。



【ブース出展】アフリカン・フェスタ 2013

日程：2013年5月11,12日 場所：横浜赤レンガ倉庫
主催：外務省、横浜市
内容：2日間で15万人が来場した、国内最大規模のアフリカ関連イベントに出展しパネル展示やグッズ販売を行いました。



3カ国活動報告&コーヒー飲み比べイベント

日程：2013年5月19日 場所：グッドネーバース・ジャパン事務所
内容：エチオピア・グアテマラ・ベトナムでの活動報告会を聞きながら、その3カ国のコーヒーを飲み比べることができるイベントを実施しました。淹れ方も味も全く違うそれぞれのコーヒーに、参加者全員が「おいしい」と感想を述べてくださいました。



MDGs フェスタ～世界と結んだ8つの約束

日程：2013年6月2日 場所：横浜赤レンガ広場
主催：一般社団法人横浜青年会議所
内容：ユースグループ smilooop と共に出展した MDGs フェスタでは、「識字の重要性」をテーマにした体験学習を行いました。ブースには127名の子ども達が訪れ、文字が読めない大変さを疑似体験したり、クイズで世界の子ども達の現状を学んだり、楽しみながら国際協力に参加しました。



東日本大震災復興支援最終報告

日程：2013年6月29日 場所：JICA 地球ひろば
内容：東日本での活動終了に伴い、これまでの活動報告会を実施しました。インドネシア研修に参加した岩手県の高校生2名によるパネルトークや、心のケアプログラムとして実施したアートセラピー活動の展示も行い、25名の方にご参加いただきました。



【ブース出展】グローバルフェスタ JAPAN 2012

日程：2013年10月5,6日 場所：日比谷公園
主催：グローバルフェスタ JAPAN2013 実行委員会
内容：毎年参加している国内最大級の国際協力イベントに、ユースグループ smilooop と共同出展しました。サイドイベントのチャリティランでは東北の復興支援に携わったボランティアの方々が一同に集い、スタッフと共に皇居の周りを走りました。



ネットワーク

世界一大きな授業キャンペーン 2013

日程：2013年4月15日～5月12日 場所：全国各地

主催：教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)

内容：「世界中の子どもに教育を」というテーマで、2003年より毎年実施している本キャンペーンは、世界 100 カ国以上で展開されています。2013 年は全国から 662 校・グループ、58,418 人が参加し、日本の教育支援の拡大を政治家に提案しました。GNJP は 2010 年から実行委員として参加しています。



児童労働反対世界デーキャンペーン 2013

日程：2013年6月1日～30日 場所：全国各地

主催：児童労働ネットワーク (CL-Net)

内容：GNJP が運営委員会に参加している CL-Net では児童労働の撤廃を目指すキャンペーンを実施しています。今年は SNS を使ってキャンペーンを展開し、2,213 名が写真と共に、児童労働撤廃の意志を発信しました。

青少年育成

「国際協力に携わる若者を増やしたい」そのような思いからグッドネーバース・ジャパンは 2013 年にユースグループ『smiloop』を立ち上げました。大学生や若手社会人が一丸となり、グッドネーバース・ジャパンとのイベント協同出展の他、交流や啓発を目的とした自主イベントを実施しました。

フェアトレードイベント

日程：2013年12月22日 場所：東洋大学

内容：設立後初の自主企画書としてフェアトレードにまつわるイベントを実施しました。当日はフェアトレードについての理解を深めるため、「知る」「考える」「体感する」の 3 つのステップを用意し、高校生・大学生・社会人からなる参加者と一緒に「私達にできること」を考えました。



会計報告

2013 年度収支計算書 (2013 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日)

収入の部

(単位:円)

I 経常収入の部		
事業収入		2,643,030
助成金等収入		22,002,809
助成金収入	12,264,158	
グッドネーパーズ本部補助金収入	9,738,651	
寄付金収入		34,140,098
その他収入		8,898
	経常収入合計	58,794,835
II その他資金収入の部		
前期繰越金		46,090,390
	収入合計	104,885,225

支出の部

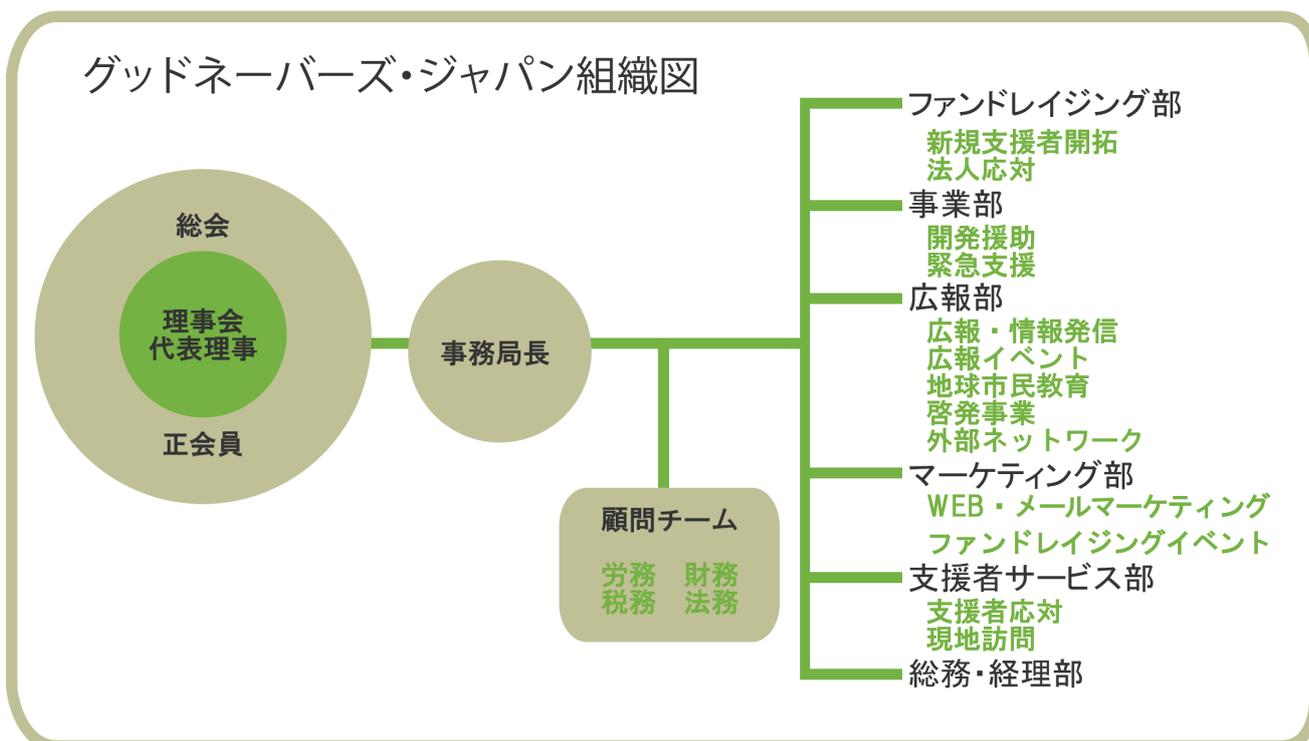
III 経常支出の部		
1 事業費		
(1)開発途上国等の子ども達並びにその家族および地域社会のための地域開発支援事業	20,818,002	
(2)開発途上国等における、大規模自然災害または紛争等の発生時における緊急人道支援および復興支援	35,981,233	
(3)地域開発支援事業への支援者と、開発途上国の子ども達ならびにその家族および地域社会との間の相互理解の促進	11,451,353	
(4)国際協力に対する日本人の理解を深める啓発事業	8,909,691	
(5)国際協力に参加する機会を広く日本人に提供する普及活動	8,618,530	
	事業費合計	85,778,809
2 管理費		7,344,386
	経常支出合計	93,123,195
IV その他資金支出の部		
次期繰越金		11,762,030
	支出合計	104,885,225
当期収支差額		0

貸借対照表(2013年12月31日現在)

(単位:円)

I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金預金	4,755,631		未払金	2,981,922	
未収金	1,980,724		預り金	344,120	
貯蔵品	5,940		流動負債合計		3,326,042
仮払金	250,000		2 固定負債		
緊急支援等事業特定資産	7,292,277		固定負債合計		0
流動資産合計		14,284,572	負債合計		3,326,042
2 固定資産			III 正味財産の部		
保証金	803,500		前期繰越正味財産		46,090,390
			当期正味財産増減額		△ 34,328,360
固定資産合計		803,500	正味財産合計		11,762,030
資産合計		15,088,072	負債及び正味財産合計		15,088,072

組織概要・役員一覧



理事・顧問

代表理事： 福井 玲（東京大学教授）
 副代表理事： 窪 誠（大阪産業大学教授）
 常務理事： 小泉 智（グッドネーバース・ジャパン事務局長）
 理事： 韓 福相（大阪産業大学教授）
 李 健泳（新潟大学教授）
 李 一夏（グッドネーバース・インターナショナル会長）
 監事： 小林 貴（株式会社奈良屋代表取締役）
 法務顧問： 金子 憲康（弁護士）
 財務顧問： 戒井 重樹（公認会計士）
 労務顧問： 浅井 浩次（特定社会保険労務士）
 税務顧問： 東京さくら会計事務所

加盟団体・参加ネットワーク

JANIC（国際協力 NGO センター） / JPF（ジャパン・プラットフォーム）
 CL-Net（児童労働ネットワーク） / なんとかしなきゃプロジェクト
 JNNE（教育協力 NGO ネットワーク） / 日本ファンドレイジング協会
 「動く→動かす」（GCAP Japan） / NGO-JICA 協議会
 CSR 推進 NGO ネットワーク / 子どもの権利条約 NGO グループ / 日本
 「ESD の 10 年・世界の祭典」推進フォーラム



世界中の
子ども達に
笑顔を

認定NPO法人 グッドネーバーズ・ジャパン
〒143-0016 東京都大田区大森北2丁目14-2 大森クリエイトビル3階
TEL : 03-6423-1768 FAX : 03-6423-1766 E-MAIL : admin@gnjp.org
HP : <http://www.gnjp.org> Twitter : @GNJapan Facebook : [facebook.com/gnjp](https://www.facebook.com/gnjp)